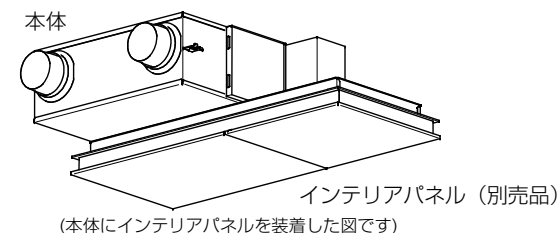


## 東芝業務用・全熱交換ユニット<天吊カセット形> 取扱説明書



形 名

本体

VNC-UM150RW  
VNC-UM250RW  
VNC-UM350RW  
VNC-UM500RW

インテリアパネル（別売品）

P-250R  
P-350R  
P-500R

<リモコン：別売品>

RBC-AMSU\*\* (省エネneoリモコン)

\*\*：52以降

### もくじ


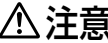
安全上のご注意	2
標準設置例	3
特長	3
各部のなまえとはたらき	4
正しい使いかた	6
タイマー運転	9
お手入れ	11
仕様	13
別売CO <sub>2</sub> ・PM2.5センサーについて	14
修理を依頼される前に	15
故障診断	15
保証とアフターサービス	16

- このたびは東芝業務用・全熱交換ユニットをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。また、お使いになる方が代わられた場合は必ず本書をお渡しください。
- 据付説明書を販売店または工事店から必ず受け取って保存してください。

# 安全上のご注意




商品本体および取扱説明書には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。  
次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

### ■表示の説明













表示	表示の意味
 <b>警告</b>	“取り扱いを誤った場合、使用者が死にまたは重傷（*1）を負うことが想定される内容”を示します。
 <b>注意</b>	“取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定される内容”を示します。

\*1:重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。  
\*2:軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。  
\*3:物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる甚大損害をさします。

### ■図記号の説明

図記号	図記号の意味
	○は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	△は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

## ⚠ 警告

<b>据付は、お買い上げの販売店または据付専門業者に依頼する</b> 据付には専門の知識と技術が必要です。 お客様ご自身で据付を行うと、火災・感電・けが・水漏れの原因になります。 	<b>自分で分解・改造・修理・移設をしない</b> 火災・感電・けが・水漏れの原因になります。 修理・移設は、お買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターへご依頼ください。 
<b>可燃性ガスが漏れるようなおそれのある場所へ設置しない</b> 万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまとると発火・火災の原因になります。 	<b>アース工事が正しくされているか確認する</b> アース工事が不完全な場合は、感電の原因になります。 確認方法については、据付を行った販売店、または据付専門業者へお問い合わせください。 
<b>長時間冷風をからだに直接当てたり、冷やし過ぎない</b> 体調悪化・健康障害の原因になります。 	<b>アースを確認する</b> 
<b>異常時（焦げ臭い・内部に水や異物が入ったなど）は、運転を停止して、電源ブレーカーを切る</b> そのまま使うと、火災・感電の原因になります。 修理をお買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターへご依頼ください。 	<b>空気の吹出口や吸込口などから物（金属・紙・水など）を差し込んだり、中に入れたりしない</b> 内部でファンが高速回転していたり、高電圧箇所があるため、けがや感電の原因になります。 
<b>修理は、お買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターへ依頼する</b> 修理に不備があると火災・感電の原因になります。 	<b>漏電遮断器（過電流保護機能付き）が正しく取り付けられているか確認する</b> 漏電遮断器が正しく取り付けられていないと、感電の原因になることがあります。確認方法については、据付を行った販売店、または据付専門業者へお問い合わせください。 
<b>電気部品に水や洗剤などをかけたり、吹きつけたりしない</b> 漏電し、火災・感電の原因になります。 	<b>別売品は必ず弊社指定の製品を使用する</b> 指定以外の製品を使用すると、火災・感電・水漏れなどの原因になります。また、取付は専門の業者に依頼してください。 

## ⚠ 注意

<b>食品・動植物・精密機器・美術品の保存や、船舶・車両などの特殊用途には使用しない</b> 品質低下や全熱交換ユニットの故障の原因になることがあります。 	<b>風が直接当たる場所には動植物を置かない</b> 動植物に悪影響を与える原因になることがあります。 
<b>長時間ご使用にならないときは、安全のため電源ブレーカーを切る</b> 絶縁劣化による火災・感電の原因になります。 	<b>本体に異常な振動が発生したときは、使わない</b> 本体・部品が落下し、けがをする原因になります。 
<b>全熱交換ユニットの風が直接当たる場所で燃焼器具を使わない</b> 事故の原因になることがあります。 	<b>冬期、室内を暖房しているとき「普通換気」で運転しない</b> 本体から、結露水が天井面に滴下して、天井面を汚す原因になります。 
<b>全熱交換ユニット本体を水洗いしない</b> 感電の原因になることがあります。 	<b>掃除をするときは、必ず運転を停止して電源ブレーカーを切る</b> 内部でファンが高速回転していますので、けがの原因になることがあります。 
<b>点検蓋・フィルター・インテリアパネルなどの部品は確実に取り付け</b> 落下し、けがをする原因になります。 	<b>ぬれた手でボタンを操作しない</b> 感電の原因になることがあります。 
<b>可燃性スプレーなどを全熱交換ユニットの近くに置いたり、直接吹きかけない</b> 発火の原因になります。 	<b>電源は必ず定格電圧で全熱交換ユニット専用回路にする</b> 故障・火災の原因になることがあります。 全熱交換ユニット専用回路になっているか確認する 
<b>高温(50℃以上)や直接炎が当たったり、油煙の多い場所には使用しない</b> 火災の原因になります。 	<b>正しい容量の電源ブレーカーを使用する</b> 電源は必ず定格電圧で全熱交換ユニット専用の回路をご利用ください。 
<b>フィルター着脱時、不安定な台に乗らない</b> 転倒などけがの原因になることがあります。 	<b>フィルターを水洗いしたあとは、水気を拭き取って陰干する</b> 水気が残っていると感電の原因になることがあります。 
<b>全熱交換ユニットの真下や近くにぬれて困るものは置かない</b> 運転条件によっては水が滴下し、家財をぬらす原因になることがあります。 	<b>機械、化学工場および研究施設など酸・アルカリ・有機溶剤・塗料など有毒ガス・腐食性成分を含んだガスが発生する場所には、本体および室内吸込口を設置しない</b> 本体内部の腐食・劣化が発生し、火災の原因になります。 
<b>全熱交換ユニットのクリーニングはお買い上げの販売店または東芝エアコン空調換気ご相談センターに依頼する</b> 誤った方法で洗浄を行うと、樹脂部品の破損や電気部品の絶縁抵抗不良などが発生して故障の原因となったり、最悪の場合は水漏れ・感電あるいは発煙・発火につながるおそれがあります。 	<b>お手入れの際は手袋を着用する</b> けがをする原因になります。 
<b>蒸気が多く発生するような場所、蒸気が発生させる機器近傍に全熱交換ユニットを設置しない</b> ユニット内蔵部品が結露し、故障するおそれがあります。 	<b>長期使用で据付台などが傷んでいないか確認する</b> 傷んだ状態で放置するとユニットの落下につながり、けがなどの原因になります。 

# 安全上のご注意(つづき)

## お願い

結露について

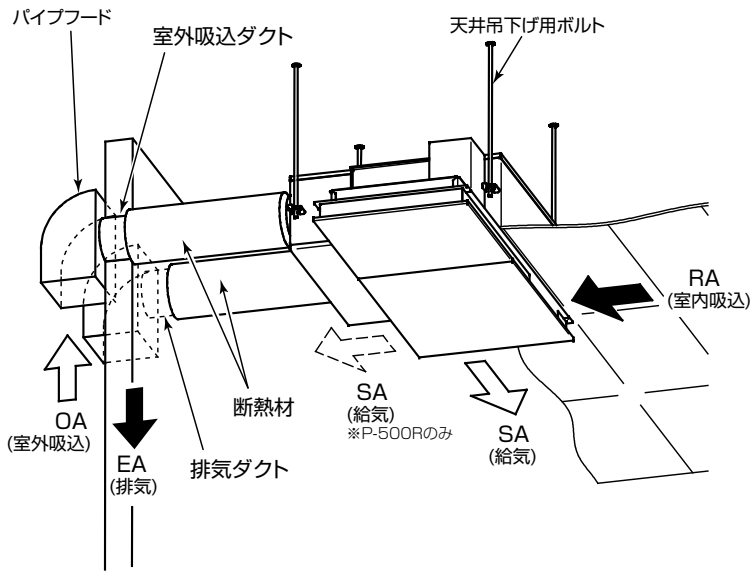
● 当社業務用・全熱交換ユニットは、JIS B 8628 全熱交換器附属書F(規定)露付き試験方法を元に下記試験条件にて本体より結露水が滴下しないことを確認しております。下記表以上の厳しい条件でご使用になられた場合には、本体より結露水が滴下することがあります。

単位:℃

分類	室内条件			室外条件			運転状態	試験時間(h)
	乾球温度	湿球温度	(相対湿度)	乾球温度	湿球温度	(相対湿度)		
夏期冷房状態	22	17	61%	35	29	64%	運転	6
冬期暖房状態	20	14	51%	-5	—	—	運転	6
冬期暖房状態	20	14	51%	-15	—	—	停止	6

● 霧などの高湿度空気(相対湿度80%以上)を吸い込むと本体から結露水が滴下する場合があります。霧などの高湿度空気が発生しているときは、一時的に全熱交換ユニットの運転を停止してください。全熱交換ユニットの運転を停止させるシステム提案(お客様調達)については、当社「東芝エアコン空調換気ご相談センター」にご相談ください。☎0120-1048-00 受付時間(土・日・祝祭日を除く)9:00~18:00  
本システム提案を構築する場合、空調機運動制御システムは不可となります。  
※このような条件が想定される場合、24時間換気運転、ナイトバージ運転の設定は控えてください。

# 標準設置例



# 特長

## 主な特長

- 省エネ換気  
換気で失われる熱エネルギー(外気負荷)を効率よく回収するため、冷暖房費が節約できます。
- 省設備  
外気負荷を大幅に軽減できるので、回収できる熱エネルギー分だけ冷暖房機器を小型化できます。
- 調湿効果  
冷房時は高温な外気を除湿(冷房)された室内湿度に近づけて給気します。  
暖房時は乾燥した外気に室内の湿度を移し、室内湿度に近づけて給気します。
- 快適換気  
室温の変化を少なくして換気できます。  
また、排気と給気を同時に行うため、気密性の高い部屋でも安定した換気ができます。
- 遮音効果  
本体風路、熱交換素子には遮音効果があります。  
屋外の騒音の侵入や屋外への音の流出を低減し、事務所や店舗の環境を損ないません。

## 換気モードについて

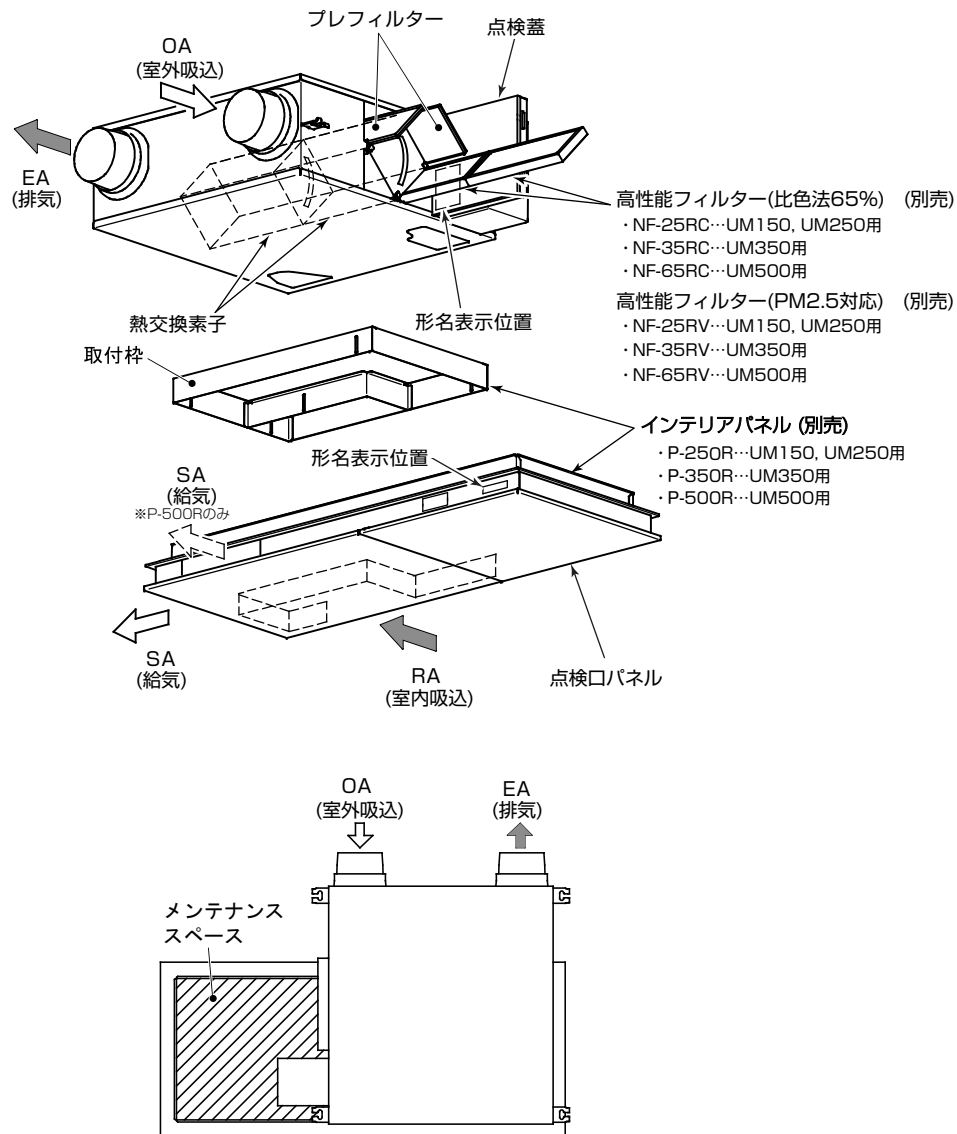
- 次の3つの換気モードがあります。
- 全熱換気 …………… 外気を室内空気と熱交換させ室内空気の温湿度に近づけて室内に取り入れます。
  - 普通換気 …………… 外気をそのまま室内に取り入れます。主に春夏の中間期に使用します。
  - 自動換気 …………… (1)全熱交換ユニット単独システムの場合  
全熱交換ユニットの室内・室外温度センサーの情報により「全熱換気」と「普通換気」を自動的に切り換えます。  
(2)空調機連動システムの場合  
空調機の運転モード(冷房・暖房・ドライ・送風と設定温度)と全熱交換ユニットの室内・室外温度センサーの情報により「全熱換気」と「普通換気」を自動的に切り換えます。

## お知らせ

【自動換気】・【普通換気】のとき、外気温度が約15℃以下になると、コールドドラフトのおそれがあるため設定した換気モードにかかわらず自動的に【全熱換気】運転になります。  
※表示は設定した換気モードのままです。

# 各部のなまえとはたらき

## 天吊カセット形(本体)



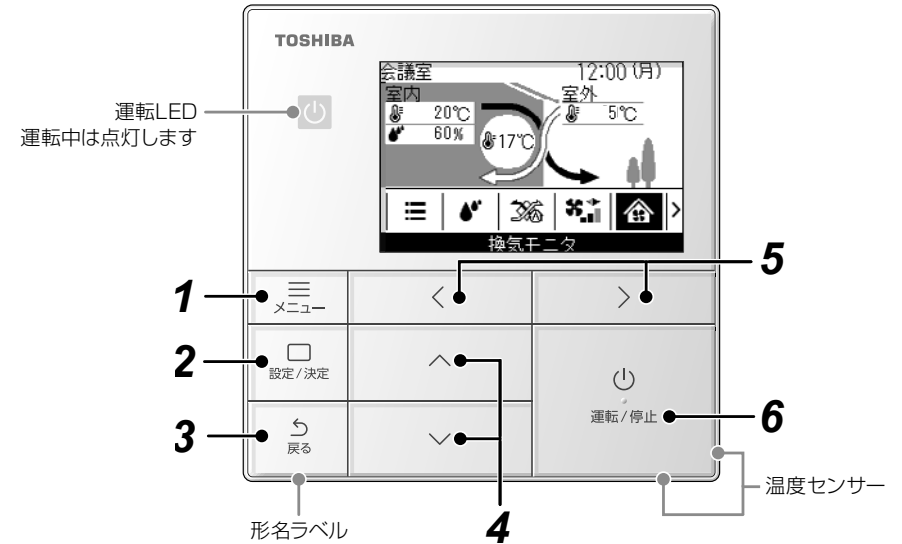
## お知らせ

使用初期に熱交換素子のおいが出る場合がありますが、異常や有害ではありません。

## リモコン

### 操作部

- このリモコン1台で、全熱交換ユニットを最大16台まで運転することができます。
- 一度運転内容を設定すると、そのあとは「運転/停止」ボタンを押すだけでご使用になれます。



### 1 「≡メニュー」ボタン

「メニュー画面」を表示します。

### 2 「□設定/決定」ボタン

設定の反映や決定などを行います。  
使いかたは画面内に表示されます。

### 3 「⏮️戻る」ボタン

選択の取り消しなどを行います。  
使いかたは画面内に表示されます。

### 4 「<」「>」ボタン

設定の変更や項目の選択を行います。



### 5 「<」「>」ボタン

設定項目の選択をします。  
その他の使いかたは画面内に表示されます。





### 6 「⏻運転/停止」ボタン

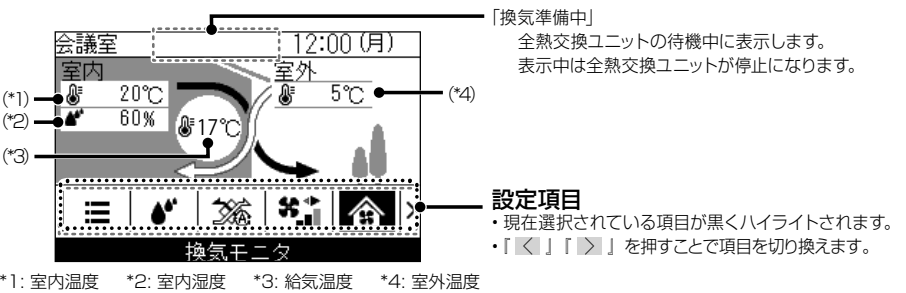
接続している機器の運転と停止を行います。

# 各部のなまえとはたらき(つづき)


**表示部** 表示例は説明のためすべて表示してあります。実際は選択した内容の表示となります。  
●電源ブレーカーを最初に入れたとき、リモコンの表示部に「」が点滅します。  
この表示中は自動機種確認中ですので「」が消えたあとリモコンの操作を行ってください。

## ■全熱交換ユニットメイン画面



全熱交換ユニットが接続されている場合に表示されます。空気の状態をモニターしたり、換気風量や換気モードを設定する画面です。  
画面下部の設定項目の表示により現在の状態を確認できます。  
「」「」を押すことで設定項目を切り換えて、「」「」を押すことで変更することができます。



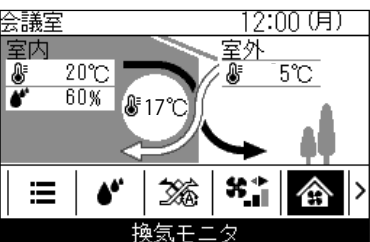
## お知らせ

- 「換気モニタ」画面がメイン画面です。
- 機種により、設定できない機能や項目は表示されません。
- 設定を変更中に「 戻る」を押した場合および約 60 秒間ボタン操作がない場合、メイン画面に戻ります。
- 表示値(\*1, \*2, \*3, \*4)は全熱交換ユニットの内部で検出した値ですので、実際の値とは異なる場合があります。
- 室内湿度(\*2)の表示が「- %」の場合、湿度センサーが故障していますので買い上げの販売店にお問い合わせください。なお、湿度センサーが故障した場合でも、全熱交換ユニットの運転は継続されます。

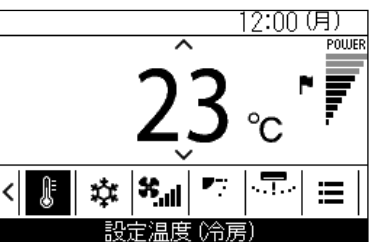
## ■メイン画面の種類と構成

- 空調機に接続されている場合は空調機のメイン画面が表示され、全熱交換ユニットに接続されている場合は全熱交換ユニットのメイン画面が表示されます。
- 空調機と全熱交換ユニットの両方に接続されている場合は、それぞれのメイン画面で「」「」を押すことで画面を切り換えることができます。

















## 全熱交換ユニットメイン画面








## 空調機メイン画面



## ◆アイコン一覧

	「セーブ運転」が「有効」のときに表示されます。		「タイマー設定」が「有効」のときに表示されます。
	リモコンセンサーを設定したときに表示されます。		「フラップロック設定」が設定されているときに表示されます。
	「室外静音設定」が「有効」のときに表示されます。		フィルターのお手入れ時期になると表示されます。
	集中管理操作ロック中に表示されます。		「ソフト冷房」運転が「有効」のときに表示されます。
	「節約運転」が「有効」のときに表示されます。		運転モードが制限されているときに「運転切換」画面で運転モードを変更する操作を行うと約3 秒間表示されます。
	Bluetooth® 機能が「有効」のときに表示されます。Bluetooth® 機能についてはBluetooth® 機能取扱説明書をご参照ください。		「空清」（空気清浄）機能が「有効」のときに表示されます。
	点検コードが発生したときに表示されます。		通知コードが発生したときに表示されます。詳細については、買い上げの販売店にお問い合わせください。
	設定温度に到達し、室温維持中に表示されます。		空調機に接続されている市販の換気ユニットが運転中のときに表示されます。

## ◆換気アイコン一覧 ●換気ユニット接続時のみ表示されます。


	自動換気		全熱換気		ナイトパージ
	普通換気		24 時間換気		

# 正しい使いかた

はじめてお使いのときや設定を変えるときは、次の手順で操作してください。  
次回から「運転/停止」ボタンを押すだけで操作した設定内容の運転を開始します。

## 準備


### 電源ブレーカーを入れる

- 電源が入ると、リモコン表示部に「

### お願い


- 使用期間中は電源ブレーカーを切らないでください。
- 長期間停止後/運転開始をするときは、12時間以上前に電源ブレーカーを入れてください。

## ■運転のしかた


- 1 「

```


graph LR
    A[その他設定] <--> B[加湿]
    B <--> C[換気モード]
    C <--> D[換気量]
    D <--> E[換気モニター]
  
```

- 3 運転を停止するときは、再度「


## ■その他設定（換気メニュー）

- 1 全熱交換ユニットメイン画面で「

## ■加湿設定 ※加湿機能を搭載していない機種は設定できません。（メニュー画面にも表示されません。）

- 1 全熱交換ユニットメイン画面で「

## ■換気モード設定

- 1 全熱交換ユニットメイン画面で「

```


graph LR
    A[全熱換気] <--> B[自動換気]
    B <--> C[普通換気]
  
```



## ■換気量調節

### お知らせ

工場出荷時設定は、換気量自動、換気量アンバランス（「給気 > 排気」または「給気 < 排気」）の設定は無効になっています。無効の設定項目は表示されません。有効にする場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

- 1 全熱交換ユニットメイン画面で「



- \*1: ◀▶「給気 > 排気」設定時  
室内への給気量が室外への排気量より多くなります。
- \*2: ▶▶「給気 < 排気」設定時  
室外への排気量が室内への給気量より多くなります。
- \*3: 空調機連動システムの場合は、空調機の機種によって表示が異なる場合があります。
- \*4: 「

# 正しい使いかた (つづき)

## 換気の説明

### 換気モードについて

※詳しくは、3ページの「換気モードについて」をご覧ください。  
換気モードには【全熱換気】・【普通換気】・【自動換気】があります。





### 換気量アンバランス(給>排/給<排)について

**通常運転(強・弱・微弱)の時：**  
室内への給気量と室外への排気量が同換気量にセットされます。

**換気量アンバランス運転の時：**  
・換気量アンバランス給>排設定時：室内への給気量が室外への排気量より多くなるようにセットされます。  
(トイレや厨房などの臭気、湿気の室内への流入をしにくくすることができます。)  
・換気量アンバランス給<排設定時：室外への排気量が室内への給気量より多くなるようにセットされます。  
(病室などの臭気や浮遊菌の廊下などへの流出をしにくくすることができます。)

※換気量アンバランスの設定がおかしいと思われる場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。


### 24時間換気運転について

- 24時間換気運転の設定がされている場合、運転中に「 運転/停止」を押すと、運転ランプが消灯し、リモコン表示部に「」が表示され、24時間換気運転を開始します。
  - 24時間換気運転を一時停止させるにはメイン画面の「換気設定」または「 メニュー」を押してメニュー画面にし「換気設定」画面で「24h換気の停止」を選択してください。
- 「」表示が消灯し、24時間換気運転を一時停止できます。



### お知らせ

- ・工場出荷状態では24時間換気運転の設定は「切」になっています。「入」にする場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ・24時間換気運転中は、【微弱】、【全熱換気】で運転します。「換気量」、「換気モード」の変更はできず、表示もしません。

### ご注意

- ・集中管理モード(集中1、2および全熱交換ユニットの外部入力CN61②-③やCN705①-②手元禁止)により、「」が点灯中は停止します。

### ナイトパーシ運転について

- ナイトパーシ運転とは夏場の夜間、空調機が停止している間に室内にこもった熱気を換気【普通換気】により自動排気し、翌朝の室内空調負荷を軽減させる機能です。
  - ナイトパーシ運転は下記2つのシステムに対応しています。
    - (1) 全熱交換ユニットの単独システム(1台および複数台)  
ナイトパーシ運転の設定がされている場合、全熱交換ユニット停止後に機能します。
    - (2) 空調機連動システム  
ナイトパーシ運転の設定がされている場合、空調機の停止前の運転モードが【自動(冷房)・ドライ・冷房】の場合に機能します。
- 運転中に「 運転/停止」を押すと、運転ランプが消灯し、表示部に「」が表示され待機状態となり、下記のナイトパーシ運転条件が満たされれば、【微弱】の換気量で【普通換気】運転を開始します。  
ナイトパーシ運転を行っていて、ナイトパーシ一時停止条件に入った場合、30分間停止します。  
その後ナイトパーシ運転条件が満たされれば、ナイトパーシ運転を開始し、ナイトパーシ運転条件が満たされなければ停止を続けます。  
このサイクルを次のナイトパーシ停止条件まで繰り返します。

#### ナイトパーシ運転条件：

モニター運転(約5分間)により室内温度と外気温度を比較し、次の条件を満たす場合、運転を開始する。

- ①待機状態からモニター運転開始までの時間が経過  
(1~48時間で、1時間単位で設定されています。)
- ②-1 全熱交換ユニット単独システム時：外気温度 $\geq 24^{\circ}\text{C}$ かつ室内温度 $>$ 給気温度
- ②-2 空調機連動システム時：室内温度 $\geq$ 外気温度 $+3^{\circ}\text{C}$ かつ室内温度 $\geq$ 設定温度 $+2^{\circ}\text{C}$

#### ナイトパーシ一時停止条件(30分停止します)


- ①-1 全熱交換ユニット単独システム時：外気温度 $\leq 22^{\circ}\text{C}$  または 室内温度 $\leq$ 給気温度
- ①-2 空調機連動システム時：室内温度 $\leq$ 外気温度 または 室内温度 $\leq$ 設定温度

#### ナイトパーシ停止(終了)条件



次の条件を満たす場合「」が消灯する。

- ①空調機もしくは全熱交換ユニット運転開始
- ②モニター運転開始からの経過時間が48時間経過

### お知らせ

- ・工場出荷状態ではナイトパーシ運転の設定は「切」になっています。「入」にする場合やモニター運転開始までの時間を変更する場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。また、全熱交換ユニット単独システム時の外気温度条件(24℃)を変更したい場合も、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ・ナイトパーシ運転中は、「換気量」、「換気モード」の変更はできません。また表示もしません。
- ・ナイトパーシ運転の待機中、一時停止中も「」が点灯しています。
- ・24時間換気運転の設定がされている場合は、ナイトパーシ運転の設定はできません。

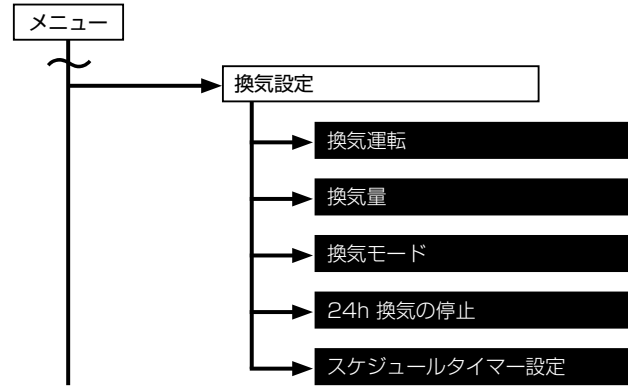
### ご注意

- ・外気温度が約15℃以下になると、コールドドラフトのおそれがあるためナイトパーシ運転を行いませんが、「」は点灯しています。
- ・集中管理モード(集中1、2および全熱交換ユニットの外部入力CN61②-③やCN705①-②手元禁止)により、「」が点灯中は停止します。

# 正しい使いかた (つづき)

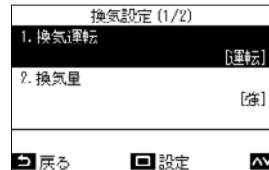
## ■メニュー画面の流れ

「 メニュー」を押すとメニュー画面が表示されるので、「」「」で換気設定を選択します。  
全熱交換ユニットの設定画面に展開できます。



## 換気設定

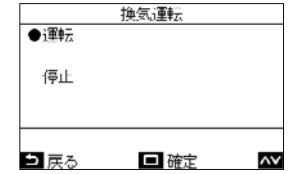
- 1 「メニュー画面」で「換気設定」を選んで「 設定/ 決定」を押す
- 2 「」「」を押して項目を選ぶ
- 3 「 設定/ 決定」を押す



項目	説明
1. 換気運転	換気の「運転」または「停止」を行います。
2. 換気量	「換気量」の選択を行います。
3. 換気モード	「換気モード」の選択を行います。
4. 24h 換気の停止	24 時間換気運転を停止します。
5. スケジュールタイマー設定	換気のスケジュール設定を行います。 * 全熱交換ユニットが単独で接続されている場合のみ設定できます。

## 換気運転（換気の運転または停止）

- 1 「換気設定」画面で「」「」を押して「換気運転」を選んで「 設定/ 決定」を押す
- 2 「」「」を押して「運転」または「停止」を選ぶ
- 3 「 設定/ 決定」を押す  
→ 「換気設定」画面に戻ります。

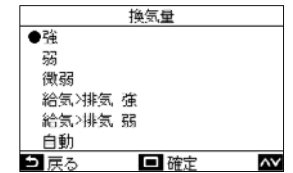


### お知らせ

- 換気ユニットが接続されていない場合や、「換気単独」操作ができる設定が行われていない場合は「現在は設定できません。」と表示されます。
- 「換気量」「換気モード」「24h 換気の停止」は当社全熱交換ユニット VN-M\*H\* シリーズまたは VN-\*M\*R\* との組み合わせ時のみ設定できます。「スケジュールタイマー設定」は当社全熱交換ユニット VN-\*M\*R\* シリーズとの組み合わせ時のみ設定できます。
- VN-M\*H\* シリーズ以外を組み合わせると「換気単独」操作ができる設定を行ったとき、換気運転中は詳細表示画面に「」が表示されます。

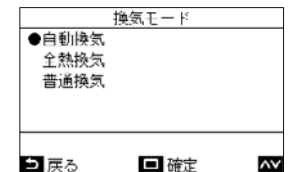
## 換気量

- 1 「換気設定」画面で「」「」を押して「換気量」を選んで「 設定/ 決定」を押す
- 2 「」「」を押して「換気量」を選ぶ
- 3 「 設定/ 決定」を押す  
→ 「換気設定」画面に戻ります。



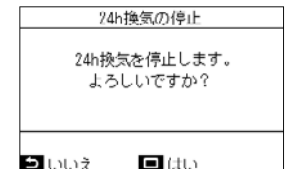
## 換気モード

- 1 「換気設定」画面で「」「」を押して「換気モード」を選んで「 設定/ 決定」を押す
- 2 「」「」を押して「換気モード」を選ぶ
- 3 「 設定/ 決定」を押す  
→ 「換気設定」画面に戻ります。



## 24h 換気の停止

- 1 「換気設定」画面で「」「」を押して「24h 換気の停止」を選んで「 設定/ 決定」を押す  
→ 確認画面が表示されます。
- 2 「 設定/ 決定」を押す  
→ 「換気設定」画面に戻ります。
























# 正しい使いかた (つづき)

## スケジュールタイマー設定

全熱交換ユニット単独システム（1 台および複数台）時のみ使用できます。

- 1 「換気設定」画面で「」「」を押して「スケジュールタイマー設定」を選んで「 設定/ 決定」を押す
- 2 「」「」を押して「毎日条件」を選んで「 設定/ 決定」を押す
- 3 「」「」を押して「毎日同じ」を選んで「 メニュー」を押す
- 4 「 設定/ 決定」を押す
- 5 「」「」を押して「--」（未設定）「運転」「停止」または換気モードを選ぶ
- 6 「」を押して開始時刻と換気量を選ぶ  
→「--」（未設定）の場合は時刻と換気量の設定はできません。
- 7 「」「」を押して時刻と換気量を変更する  
→「」を押して変更したい項目に切り換えます。
- 8 「」を押して次のパターンへ移動する  
→パターンは全部で8つ設定ができます。  
→各パターンごとに5～7の手順を行って設定します。
- 9 「 設定/ 決定」を押す  
→変更確認画面が表示されます。
- 10 「 設定/ 決定」を押す  
→「スケジュールタイマー設定」画面に戻ります。



### お知らせ

- 全熱交換ユニットの設定によっては表示される項目は異なります。（例：換気量自動や換気量アンバランスなど）
- 「曜日個別」の設定についてはリモコンの取扱説明書を参照ください。

# タイマー運転

3 つのタイマーの種類が選べます。（168 時間の設定ができます）





切タイマー

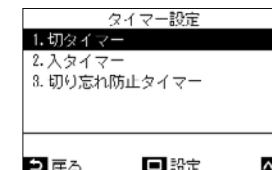
入タイマー

切り忘れ防止タイマー

設定時間になると運転を停止します。 設定時間になると運転を開始します。 毎回、設定時間後運転を停止します。










## ■タイマーの種類の選択

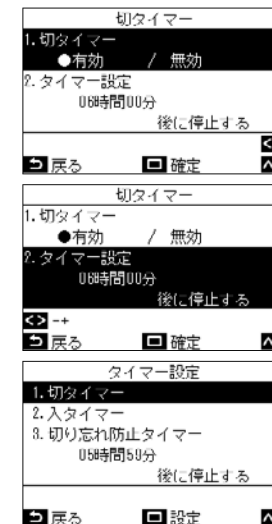
- 1 「メニュー画面」で「タイマー設定」を選んで「 設定/ 決定」を押す
- 2 「」「」を押して設定したいタイマーを選ぶ
- 3 「 設定/ 決定」を押す



## ■切タイマー

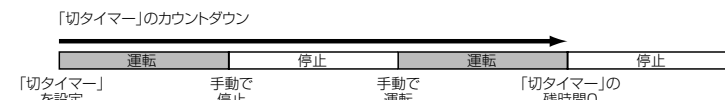
全熱交換ユニットの運転を停止させるまでの時間をタイマーで設定できます。

- 1 「切タイマー」画面で「」「」を押して「切タイマー」を選ぶ
- 2 「」を押す  
→「」を押すと設定は解除されます。
- 3 「」「」を押して「タイマー設定」を選ぶ
- 4 「」「」を押して時間を変更する  
→ 24 時間までは30 分ごと、24 時間以後は1 時間ごとの設定ができます。
- 5 「 設定/ 決定」を押す  
→ 「タイマー設定」画面に戻ります。



### お知らせ

- 「切タイマー」で設定した時間が経過したあとに、全熱交換ユニットの運転を停止します。
- 「切タイマー」によって全熱交換ユニットの運転が停止されるまでの間に、全熱交換ユニットの運転が停止・開始されても「切タイマー」のカウントダウンは継続されます。



# タイマー運転(つづき)

## ■入タイマー

全熱交換ユニットの運転を開始させるまでの時間をタイマーで設定できます。

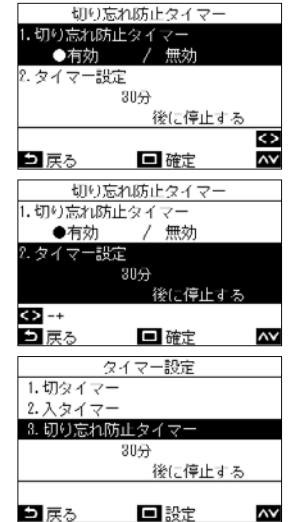
- 1 「入タイマー」画面で「」「」を押して「入タイマー」を選ぶ
- 2 「」を押す  
→ 「」を押すと設定は解除されます。
- 3 「」「」を押して「タイマー設定」を選ぶ
- 4 「」「」を押して時間を変更する  
→ 24 時間までは30 分ごと、24 時間以後は1 時間ごとの設定ができます。
- 5 「 設定/ 決定」を押す  
→ 「タイマー設定」画面に戻ります。



## ■切り忘れ防止タイマー

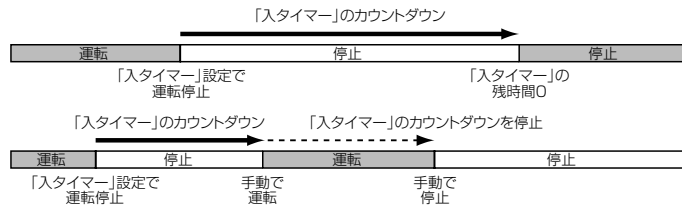
全熱交換ユニットの運転開始から停止するまでの時間をタイマーで設定できます。

- 1 「切り忘れ防止タイマー」画面で「」「」を押して「切り忘れ防止タイマー」を選ぶ
- 2 「」を押す  
→ 「」を押すと設定は解除されます。
- 3 「」「」を押して「タイマー設定」を選ぶ
- 4 「」「」を押して時間を変更する  
→ 10 分ごとに設定ができます。
- 5 「 設定/ 決定」を押す  
→ 「タイマー設定」画面に戻ります。



### お知らせ

- 「入タイマー」で設定した時間が経過したあとに、全熱交換ユニットの運転を開始します。
- 「入タイマー」を設定した時点で、全熱交換ユニットの運転を停止します。
- 「入タイマー」のカウントダウン中に全熱交換ユニットの運転を開始したときは、「入タイマー」は「無効」になります。

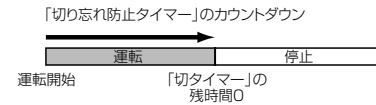


### 「切タイマー」「入タイマー」動作について

- 「切タイマー」「入タイマー」は 1 回のみ有効です。
- 以下の場合は「切タイマー」「入タイマー」は動作しません。  
「切タイマー」「入タイマー」無効中・機能設定中・集中管理中（「運転 / 停止」が禁止の場合）
- リモコンが 2 台接続されている場合、「子リモコン」での設定はできません。
- 「切タイマー」「入タイマー」の設定範囲は、最小 30 分から最大 168 時間（7 日）までです。
- 「 戻る」を押すと、変更は行われず、変更前の状態で「タイマー設定」画面に戻ります。
- 停電時は、「切タイマー」「入タイマー」設定は解除されます。（「無効」になります。）
- 「切タイマー」「入タイマー」が「有効」のとき、詳細表示画面に「」が表示されます。

### お知らせ

- 全熱交換ユニットの運転を開始すると、設定した時間が経過したあと、全熱交換ユニットの運転を停止します。



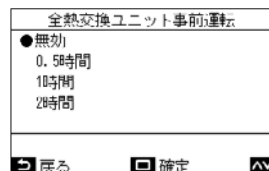
- 以下の場合は「切り忘れ防止タイマー」は動作しません。  
「切り忘れ防止タイマー」無効中・異常中・試運転中・機能設定中・タイマー設定中・集中管理中（「運転 / 停止」が禁止の場合）。
- リモコンが 2 台接続されている場合、「子リモコン」での設定はできません。
- 「切り忘れ防止タイマー」の設定範囲は、最小 30 分から最大 240 分までです。
- 「 戻る」を押すと、変更は行われず、変更前の状態で「タイマー設定」画面に戻ります。
- 「切り忘れ防止タイマー」が「有効」のとき、詳細表示画面に「」が表示されます。

# タイマー運転(つづき)

## ■事前運転(空調機連動システム)

空調機で設定されているスケジュールタイマーに連動して、空調機の運転開始より設定時間(30分/1時間/2時間)前から全熱交換ユニットの運転を開始して換気を行います。

- 1 「メニュー画面」で「スケジュールタイマー設定」を選んで「☐ 設定/決定」を押す
- 2 「スケジュールタイマー設定」画面で「☐」「☐」を押して「全熱交換ユニット事前運転」を選んで「☐ 設定/決定」を押す
- 3 「☐」「☐」を押して事前に運転させる時間を選ぶ
- 4 「☐ 設定/決定」を押す  
→「スケジュールタイマー設定」画面に戻ります。



### お知らせ

- 次の場合は「全熱交換ユニット事前運転」は動作しません。
  - スケジュールタイマーが「無効」に設定されている場合
  - 当日がスケジュールタイマーで「休日条件」に設定されている場合
  - 「時計設定」で年月日と時刻が設定されていない場合(時計が点滅)
  - 全熱交換ユニットに不具合が発生している場合(点検コードと室内ユニット No. が点滅)
  - 「試運転」中
  - 「☐」表示中
  - 「タイマー設定」が「有効」に設定されている場合および「タイマー設定」を設定している最中
  - 集中管理による操作ロックで運転と停止が禁止されている場合

# お手入れ

お手入れをするときは、必ず電源ブレーカーを切ってから行ってください。

長期間全熱交換ユニットを運転するとフィルターや熱交換素子にゴミやホコリがたまり、換気量が減るなどして換気効果が低下する原因になります。

フィルター・熱交換素子に付着したゴミやホコリを汚れの程度に応じて定期的に清掃してください。

### ⚠ 注意

- 全熱交換ユニットを水洗いしない  
感電の原因になります。
- ぬれた手でスイッチを操作しない  
感電の原因になります。
- 不安定な台に乗らない  
転倒などけがの原因になります。



禁止

## 本体

### やわらかい布でからぶきする

- 本体の汚れがからぶきで落ちないときは、40℃以下のぬるま湯ですすいだ布をよくしぼって拭いてください。

### お願い

- アルコール・ベンジン・シンナー・ガラスクリーナー・みがき粉などは使用しないでください。製品を傷めます。
- 次亜塩素酸ナトリウムは使用しないでください。金属部に腐食を起こすおそれがあります。
- 化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしないでください。変質したり表面がはがれたりすることがあります。

## リモコン

### やわらかい布でからぶきする

- 水洗いをしないでください。故障の原因となります。



## 長期間使わないとき

- 1 リモコンの「☐ 運転/停止」ボタンを押し、運転を停止して、電源ブレーカーを切る。
- 2 熱交換素子・フィルターのお手入れをする。

## 定期的な点検

- 長時間使っていると、熱・湿気・ホコリなどの影響や使用状態により部品が劣化し、故障することもあります。
- 通常のお手入れとは別にお買い上げの販売店などによる点検整備(有料)をおすすめします。

# お手入れ (つづき)

## フィルター掃除のお知らせ

リモコン画面にフィルターチェックマーク「**田!**」が表示され、フィルター掃除についての目安時間などをお知らせします。(簡易表示画面では表示されません。)

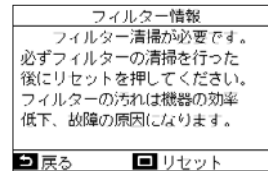
- ・「**田!**」が表示されたときは、必ずフィルターの清掃を行ったあとにリセットを行ってください。  
※詳細表示画面への切り換えは、省エネneoリモコンの据付説明書をご覧ください。



- ・「**田!**」が表示されているときに運転すると、「フィルターの清掃を行ってください。清掃後はメニュー内のフィルター情報でリセットしてください。」と表示されます。表示中に操作ボタンを押すか、5秒経過すると表示は消えます。

## ■フィルターチェックマークが表示されているとき（フィルターチェックのリセット）

- 1 「メニュー画面」で「フィルター情報」を選んで「☐ 設定/ 決定」を押す
- 2 「☐ 設定/ 決定」を押す



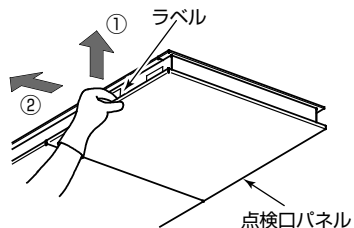
### お知らせ

フィルターチェックマークの表示は「2500 時間」に設定してあります。フィルターの汚れがひどい場合は設定時間を変更してください。設定時間の変更方法は買い上げの販売店にお問い合わせください。

## パネルの開けかた

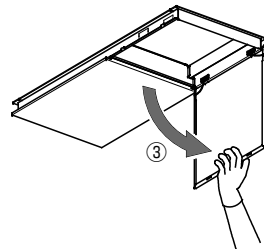
### 1 点検口パネルのツメをはずす

点検口パネルのラベル側を①の方向に持ち上げながら②の方向に引いてツメをはずしてください。



### 2 点検口パネルを開ける

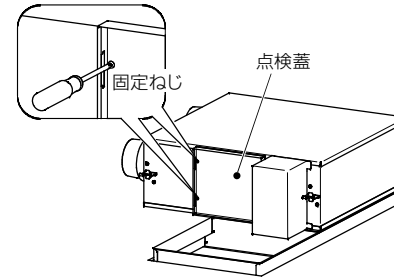
ツメがはずれたら③の方向にゆっくりおろして開けてください。



## フィルター・熱交換素子の取りはずし

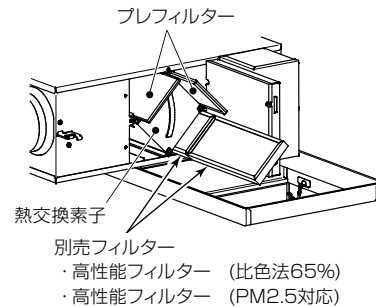
### 1 点検蓋を開ける

点検口パネルより天井裏に入り、点検蓋を手で支えながら2か所の固定ねじをはずして点検蓋を開けてください。



### 2 フィルターをはずす

フィルターを手元側へスライドさせて取り出してください。



### 3 熱交換素子を引き出す

熱交換素子の取手を持ち、手前に引き出してください。  
製品内部に水がたまっている場合は、拭き取るなどの清掃を行ってください。

### ご注意

熱交換素子は下表に示す重さがありますので落とさないようにしっかりとってください。

形名	質量 / 個	数量 / 台
VNC-UM150RW	2.2kg	1 個
VNC-UM250RW	2.2kg	1 個
VNC-UM350RW	1.7kg	2 個
VNC-UM500RW	2.4kg	2 個

## フィルターのお手入れ

### ■プレフィルターの場合

年に1~2回お掃除してください。  
フィルターは軽く手ではなく掃除機でゴミやホコリを吸い取ってください。汚れがひどいときは、台所用洗剤(中性)を溶かしたぬるま湯に浸して押し洗いしてください。

### お願い

- ・火気による乾燥は絶対しないでください。変形・変質の原因になります。
- ・フィルターは 60℃以上の湯に入れないでください。変形・変質の原因になります。

### ■別売フィルターの場合

汚れ具合に応じて2500時間を目安に交換してください。

## 熱交換素子のお手入れ

年に1~2回お掃除してください。  
掃除機のノズルで熱交換素子の表面のゴミやホコリを吸い取ってください。

### お願い

- ・掃除機のノズルはブラシ付きのものを使用し、ブラシを軽く当てて掃除してください。
- ・掃除機のかたいノズルを強く当てると、熱交換素子の表面が傷つきます。
- ・熱交換素子は絶対に水洗いしないでください。

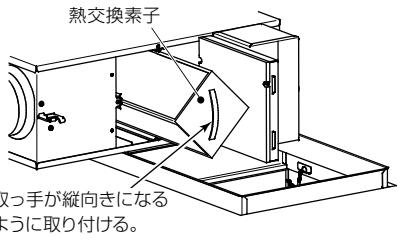
\*熱交換素子が破損などにより交換が必要な場合は買い上げの販売店、または工事店にご依頼ください。

# お手入れ (つづき)

## フィルター・熱交換素子の取付

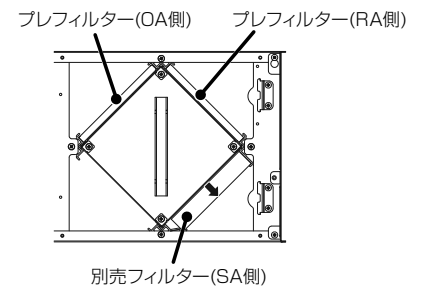
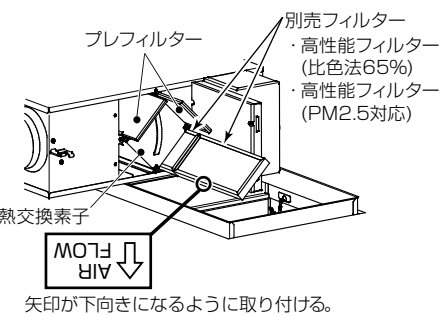
### 1 熱交換素子の取付

熱交換素子を元どり取っ手が縦向きになるように納めてください。



### 2 フィルターの取付

フィルターを元どり取り付けてください。



### お願い

プレフィルターは必ず入れてください。入れ忘れすと、熱交換素子が目づまりを起こし故障の原因になります。

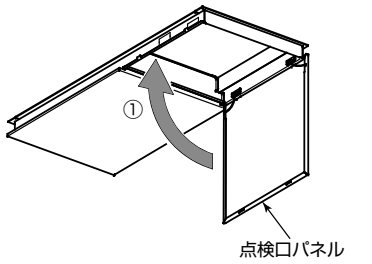
### 3 点検蓋の取付

点検蓋を手で支えながら2カ所の固定ねじをしつかりと点検蓋に引っ掛けて固定してください。

## パネルの閉じかた

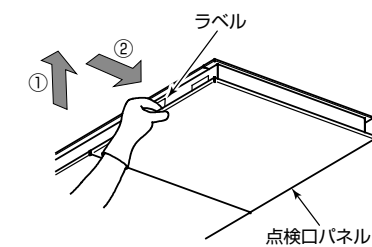
### 1 点検口パネルを閉じる

点検口パネルを①の方向にゆっくり閉じます。



### 2 点検口パネルのツメをかける

点検口パネルを①の方向に持ち上げながら、②の方向にすらして固定します。  
※確実にパネルが取り付けられているか確認してください。パネルが落下する原因となります。



# 仕様

項目	風量調整		形名	VNC-UM150RW	VNC-UM250RW	VNC-UM350RW	VNC-UM500RW
	電源			単相 100/200V 50/60Hz			
消費電力 (W)	全熱換気	特強		69	104	177	226
		強		65	95	154	177
		弱		35	40	50	77
		微弱		22	26	30	35
		特強		69	104	177	226
		強		65	99	160	178
	普通換気	弱		35	42	51	78
		微弱		22	26	30	35
	全熱換気	特強	100V	1.17	1.68	2.30	2.88
			200V	0.59	0.84	1.15	1.44
		強	100V	1.10	1.58	2.10	2.30
			200V	0.55	0.79	1.05	1.15
		弱	100V	0.63	0.67	0.72	1.07
			200V	0.32	0.34	0.36	0.54
		微弱	100V	0.43	0.48	0.46	0.50
			200V	0.22	0.24	0.23	0.25
電流 (A)	普通換気	特強	100V	1.17	1.68	2.30	2.88
			200V	0.59	0.84	1.15	1.44
		強	100V	1.10	1.58	2.10	2.30
			200V	0.55	0.79	1.05	1.15
		弱	100V	0.63	0.67	0.72	1.07
			200V	0.32	0.34	0.36	0.54
		微弱	100V	0.43	0.48	0.46	0.50
			200V	0.22	0.24	0.23	0.25
	風量 (m³/h)	特強		150	250	350	500
		強		150	250	350	500
		弱		100	150	213	350
		微弱		69	115	152	213
機外静圧 (Pa)	全熱換気	特強		81	90	112	119
		強		67	68	82	61
		弱		40	26	32	32
		微弱		20	16	18	13
	普通換気	特強		81	90	112	119
		強		67	68	82	61
		弱		40	26	32	32
		微弱		20	16	18	13
SPL 騒音 (dB(A))	全熱換気	特強		42.0	43.0	48.0	46.5
		強		40.5	42.0	46.0	43.5
		弱		32.5	31.0	35.0	35.5
		微弱		24.5	26.0	28.0	26.5
	普通換気	特強		43.0	44.0	49.0	47.5
		強		41.5	43.0	47.0	44.5
		弱		33.5	32.0	36.0	36.5
		微弱		25.5	27.0	29.0	27.5

# 仕様(つづき)

項目	形名 風量調整		VNC-UM150RW	VNC-UM250RW	VNC-UM350RW	VNC-UM500RW
PWL 騒音 (dB(A))	全熱換気	特強	57.0	58.0	63.0	61.5
		強	55.5	57.0	61.0	58.5
		弱	47.5	46.0	50.0	50.5
		微弱	39.5	41.0	43.0	41.5
	普通換気	特強	58.0	59.0	64.0	62.5
		強	56.5	58.0	62.0	59.5
		弱	48.5	47.0	51.0	51.5
		微弱	40.5	42.0	44.0	42.5
温度交換効率 (%)		特強	77.5	75.0	75.0	74.0
		強	77.5	75.0	75.0	74.0
		弱	81.5	79.0	83.0	75.0
		微弱	82.5	81.0	87.0	75.5
エンタル ピー交換効 率 (%)	暖房時	特強	76.5	75.0	74.5	73.0
		強	76.5	75.0	74.5	73.0
		弱	81.0	78.5	82.0	73.5
		微弱	82.5	80.5	85.0	75.0
	冷房時	特強	66.5	65.0	64.5	64.0
		強	66.5	65.0	64.5	64.0
		弱	75.0	71.5	73.0	66.0
		微弱	77.0	74.0	77.5	68.0
有効換気量率 (%)		特強	86	86	85	89
		強	86	86	85	89
		弱	85	85	85	89
		微弱	85	85	85	89
外形寸法 (長さ×幅×高さ)(mm)			778 × 735 × 278		880 × 880 × 305	920 × 1020 × 337
製品質量 (kg)			29	30	40	46
適用ダクト呼び径 (mm)			φ 100	φ 150		φ 200

- 本製品は JIS B 8628:2017 に規定された試験方法、表示規格に基づいた製品です。
- SPL 騒音はインテリアパネル中央部の天井面から 1.5m 下方における値です。
- 本製品の騒音値は無響室で測定した値です。実際に据付した状態では反響などの影響を受け、表示値より高くなります。
- 消費電力、電流、交換効率は表に記載の風量時の値です。
- 温度交換効率は暖房時・冷房時の平均値を示します。
- 交換効率は、給気と排気の風量比や空気条件により変動します。
- 風量切換は、強(特強)・弱・微弱の3段階です。空調機と連動制御時は風量2段階(強・弱)切換となります。
- 定風量換気制御設定可能

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。  
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.  
No servicing is available outside of Japan.

# 別売CO<sub>2</sub>・PM2.5センサーについて

- 本センサーユニットは計量法に基づいた計測器ではありません。  
酸欠や一酸化炭素中毒などの原因となる有毒ガス・可燃性ガスを感じたり防止する安全装置としては使用しないでください。また、医療機器や防災機器など高い安全性・信頼性が必要な用途には使用しないでください。
- 各センサーの濃度検知は全熱交換ユニット本体の室内吸込(RA)風路で行います。また居室内の濃度にもムラが生じるため、リモコンに表示される濃度と環境計測などの濃度に差異が生じる場合があります。リモコンに表示する濃度と環境計測などの濃度に差異がある場合は、センサーの感度を調整したり、リモコンに表示する濃度を補正することができます。(環境計測：大気などの環境の状態を把握するために行う濃度などの測定や調査・分析のこと)
- 本センサーユニットでは、運転/停止の自動制御はできません。
- 換気量【自動】運転時は、リモコンからの換気モード設定に関わらず、【全熱換気モード】固定で運転します。(リモコンの表示は設定した換気モード表示のままとなります。)
- CO<sub>2</sub>・PM2.5センサーは、普通換気切換用ダンパーと離れた位置の全熱換気側の風路に取り付けられています。換気量を自動以外(強・弱・微弱・アンバランス)に設定し、かつ換気モードが普通換気の時(自動換気モード中の普通換気を含む)には、普通換気側の風路に多くの風が流れ、急な濃度変化時にリモコン表示値が実際の濃度を反映するまでに数分間かかる場合があります。
- 24時間換気運転中やナイトバージ運転中は、本センサーによる換気量自動制御を実施しません。
- 室内の濃度に関係なく、臭いや粉塵など換気にて除去したい場合は、換気量は【自動】ではなく、【強】を選択してください。
- 急激な温度変化や湿度変化(降雨など)の影響により、本センサーの検知精度が変化し、室内の濃度を正しく検知できない場合があります。そのような場合はしばらく換気量を【自動】ではなく【強】で運転してください。
- 換気量【自動】運転時には、風量が自動的に増えて音が大きくなることがあります。
- 各センサーの検知濃度は使用環境、製品設置条件などにより異なるため、ご使用の環境によっては目標濃度を上回ることがあります。
- 本センサーユニットは一般的な室内空気環境での使用を目的としています。極端にホコリなどが発生する室内で使用された場合は、室内の濃度を正しく検知できないことがあります。

## 濃度表示と制御について

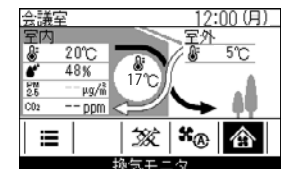
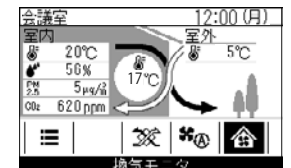
全熱交換ユニットに別売CO<sub>2</sub>・PM2.5センサーが接続されると右図のように各濃度がリモコンに表示されます。どちらかの濃度を表示させたくない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。  
また、濃度の表示範囲はCO<sub>2</sub>:300~5000ppm、PM2.5:0~999 $\mu$ g/m<sup>3</sup>です。

換気量自動「A」を選択すると各濃度に応じた換気量自動制御を行います。出荷時設定はCO<sub>2</sub>:1000ppm、PM2.5:70 $\mu$ g/m<sup>3</sup>です。この濃度に近づく(上昇する)と換気量を上げ、濃度が低下すると換気量を下げます。  
目標濃度を変更する場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。  
出荷時設定ではCO<sub>2</sub>とPM2.5の両方の濃度で換気量自動制御を行います。が、CO<sub>2</sub>濃度のみ、またはPM2.5濃度のみで換気量自動制御を行いたい場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

- ※一般的なCO<sub>2</sub>濃度の目安として、建築物環境衛生管理基準では1000ppm以下と定めています。
- ※一般的なPM2.5濃度の目安として、環境省の環境基準では1日平均値が35 $\mu$ g/m<sup>3</sup>以下、注意喚起のための暫定的な指針となる値を1日平均値70 $\mu$ g/m<sup>3</sup>と定めています。

## センサー故障について

全熱交換ユニット運転中にCO<sub>2</sub>濃度が「-」表示の場合、異常な濃度であるかセンサーが故障している可能性があります。  
PM2.5濃度が「- $\mu$ g/m<sup>3</sup>」表示の場合はセンサーが故障している可能性があります。また、点検コード「E30」「J04」「J05」が点滅している場合はCO<sub>2</sub>・PM2.5センサーの故障です。  
上記の際は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。  
なお、上記CO<sub>2</sub>センサー、PM2.5センサーが故障した場合でも、全熱交換ユニットの運転は継続されます。



# 修理を依頼される前に

■下記のような現象が生じた場合は、お客さま自身で点検してください。

現象	点検
●スイッチを入れても動かない	⇒ブレーカーが切れていませんか？ ⇒停電していませんか？ ⇒【換気準備中】表示が点灯していませんか？ (換気遅延設定が「入」になっていますので、故障ではありません。設定されている時間が経過しますと全熱交換ユニットの運転を開始します。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。)
●風が出てこない ●音が大きい	⇒フィルター、熱交換素子にホコリがたまっていますか？ (お手入れのしかた(11～13ページ)に従って掃除してください。)
●運転ランプが点灯していないのにとときどき動く	⇒【ナイトバージ】・【24時間換気】アイコンが点灯していませんか？ (ナイトバージ運転・24時間換気運転設定が「入」になっていますので、使いかた(7ページ)を参照してください。「切」にする場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。)
●リモコンを操作していないのに運転を開始する	⇒停電復帰後やブレーカーを入れた直後ではありませんか？ (電源立ち上げ発停設定、停電自動復帰設定が「入」になっていますので、お買い上げの販売店にお問い合わせください。)
●製品内部がぬれている	⇒筐体内に水がたまっていますか？ (お手入れのしかた(11～13ページ)に従って拭き取るなどの清掃を行ってください。)

■上記の点検をしても症状が変わらないとき、または点検コードが表示されているときは、事故防止のため、すぐに電源を切って、お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。(有料)

★ご自分での修理は、危険ですので絶対にしないでください。

# 故障診断

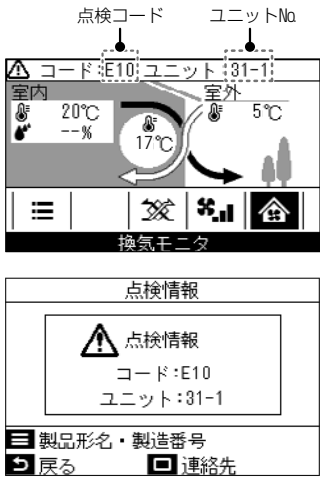
## 確認と点検

全熱交換ユニットに不具合が発生した場合、リモコン表示部に点検コードとユニットNo. が点滅表示されます。

\*点検コードは運転中のみ表示されます。

点検コードとユニットNo.が表示されているときに「戻る」を押すと、「点検情報」画面が表示されます。

「点検情報」画面で「設定/決定」を押すと、連絡先が表示されます。  
「メニュー」を押すと、「製品形名・製造番号」が表示されます。



## 点検コード一覧

点検コード	点検コード名	判定機器
E01	室内ーリモコン間通信異常(リモコン側検出)	リモコン
E02	リモコン送信異常	リモコン
E03	室内ーリモコン間通信異常(室内側検出)	室内
E08	室内アドレス重複	室内
E09	リモコン親重複	リモコン
E10	室内MCU間通信異常	室内
E18	室内親子間通信異常	室内
E30	室内-センサー基板間通信異常(運転継続)	室内
F10	全熱交換ユニット給気TSAセンサー異常	室内
F17	室外吸込TOAセンサー異常	室内
F18	室内吸込TRAセンサー異常	室内
F29	室内その他の異常	室内
J04	CO <sub>2</sub> センサー異常(運転継続)	室内
J05	PMセンサー異常(運転継続)	室内
J13	OA(室外吸込)-SA(給気)間の給気風路異常	室内
J14	RA(室内吸込)-EA(排気)間の排気風路異常	室内
L03	室内親重複	室内
L08	室内グループ/アドレス未設定	室内
L09	室内能力未設定	室内
L20	集中管理アドレス重複	室内
P10	溢水異常	室内
P12	室内DCファン異常	室内
P31	他の室内ユニット異常	室内

※判定機器の室内は、全熱交換ユニット、空調機室内ユニットです。

# 保証とアフターサービス (必ずお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

## お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

### 東芝エアコン空調換気ご相談センター

お電話・FAXをいただく際には、番号をお確かめのうえ  
おかけ間違いのないようにお願いします。

フリーダイヤル  
0120-1048-00

修理受付時間：9:00～20:00 (年中無休)

相談受付時間：9:00～18:00 (月～金)

携帯電話・IP電話 03-5326-5038 (通話料：有料)  
FAX 0947-32-8018 (通信料：有料)

- ・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連するグループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

## 補修用性能部品の保有期間

- 全熱交換ユニットの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。



愛着点検

長年ご使用の全熱交換ユニットの点検をぜひ！

ご使用の際、  
このような症  
状はありませんか。

- スイッチを入れても運転しない
- 運転中に異常音や振動がする
- 風量が少ない、または不規則
- こげ臭いにおいがする

ご使用  
中 止

故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店・工事店にご連絡ください。  
点検・修理に要する費用は販売店・工事店にご相談ください。

## 修理を依頼されるときは

(出張修理になります)

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源ブレーカーを切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。修理は専門の技術が必要です。

## 修理料金の仕組み

修理料金は技術料・部品代・出張料金などから構成されています。

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

## ご連絡いただきたい内容

品 名	東芝業務用・全熱交換ユニット
形 名	
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に 付近の目印なども合わせてお知らせください
ご 住 所	
お 名 前	
電 話 番 号	
訪 問 希 望 日	
便 利 メ モ	お買い上げ店名 電話( ) -

★ お買い上げ店名を記入されておくと便利です。

## 点検と保全周期の目安

製品を長く安心してご使用いただくために、正しく使用していただくと同時に定期的な保守点検が必要です。下記に本製品の主な部品の点検周期と保全周期(交換周期)の目安を掲載しておりますので、予防保全を目的とした保守計画を組んで実施してください。(保全周期(交換周期)は、保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。)

部 品 名	点検周期	保全周期(交換周期)
熱 交 素 子	1 年	10 年
プ レ フィ ル タ ー	1 年	3 年
別 売 フィ ル タ ー	1 年	1 年
モ ー タ ー	1 年	20,000 時間
制 御 基 板	1 年	25,000 時間
センサー(サーミスタ)	1 年	5 年
リ モ コ ン	1 年	25,000 時間

- ※1 本表は次の使用条件が前提となります。  
・頻繁な運転・停止のない、通常のご使用状態であること  
(機種により異なりますが、通常のご使用における運転・停止の回数は、6回/時間以下を目安としています。)  
・製品の運転時間は、10時間/日、2500時間/年としています。
- ※2 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいてご確認ください。
- ※3 この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適正な保全設計(保守点検費用の予算化など)のためにお役立てください。  
また、保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期と異なる場合があります。
- ※4 「保全周期」および「交換周期」は、使用条件(運転時間が長い、運転・停止頻度が高いなど)や使用環境(高温・多湿など)が厳しくなると短縮する必要があります。

日本キヤリア株式会社

〒416-8521 静岡県富士市蓼原336番地

SN:DOX7303601-02